

2024 年度 事業報告書



社会福祉法人 **太陽会**

2025.6.14 理事会（案）

使命・基本理念

■ 使命

Quality of Life への貢献

私たちは、全ての人々の幸福に貢献するために、常に愛とホスピタリティの心を大切にし、ゆとりある理想社会の創造を使命とします。

■ 基本理念

1. ご利用者の「生命の尊厳」と「人権の尊重」を最優先します。
2. 職員は「信頼と尊敬」の心を持ち、常に「研鑽と人間的成長」に努めます。
3. ご利用者との「相互理解」を深め、「信頼と共生」を価値観とします。
4. 地域社会への「参加」と地域医療・福祉・教育への「貢献」を奨励します。

■ 職員の 5 つの心得

1. 生命は尊くかけがえない存在である。
2. 人間としてのあらゆる権利を尊重する。
3. 理想社会の実現に向けて、常に向上心を持ち続ける。
4. 常に充実感をもち、明るく行動する。
5. まず、私たちが幸福でなければ、良きサービスは提供できない。

目 次

はじめに	3
1. 組織体系図	4
2. 事業所の概要	5
3. 理事会・評議員会の開催状況	6
4. 監査	8
5. 県指導監査	8
6. ISO9001:2015 内部監査・外部審査	9
7. 地域における公益的な取組	9
8. 事業展開について	10
9. 職員の動静	11
10. 労働災害の発生状況	12
11. 年間の休暇・休職の状況	12
12. めぐみの里(特別養護老人ホーム)	13
13. たいよう(介護老人保健施設)	15
14. まんぼう(ケアハウス)	17
15. しあわせの里(障害者支援施設)	19
16. らんまん(障害福祉サービス事業所)	21
17. 千葉県中核地域生活支援センター ひだまり	23
18. 鴨川市総合相談センター 天津小湊	25
19. 安房地域医療センター	27
20. 訪問看護ステーション おひさま	29
21. 安房医療福祉専門学校(看護学科)	31
22. 安房医療福祉専門学校南房総校(介護福祉学科・日本語学科)	33
23. 認定こども園 OURS(認定こども園)	35
24. OURS baby(企業主導型保育所)	37
25. 家事代行サービス ルアナ	39
26. 労働者派遣事業サンキャリ・有料職業紹介事業サンキャリ	41
27. パークウェルステイト鴨川	43
28. 幕張事業部	45

はじめに

2024年度は「医療・介護・障害福祉」の3分野において、報酬改定が同時に行われました。しかし、物価や給与の上昇に反してマイナス改定となったため、太陽会をはじめ、日本全国の医療・介護施設にとって、非常に厳しい一年となりました。

そのような状況下においても、太陽会は積極的な取り組みを進めました。2024年4月には「安房医療福祉専門学校南房総校」に「介護福祉学科」、10月には「日本語学科」を開設。

9月には、三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社が開設した「パークウェルステイト幕張ベイパーク」を中心に、医療・介護サービスを提供するため、本山哲也医師を幕張事業部長に任命し、「亀田ホームクリニック幕張」および「亀田ホームケアサービス幕張」を開設しました。

また、2025年4月には館山市からの要請を受け、「北条幼稚園」と「中央保育園」を統合し、公私連携幼保連携型認定こども園「OURS 館山」を開園。さらに長寿社会への対応として、安房地域医療センターに専用の手術室を備えた「眼科センター」を新設いたします。

このように、太陽会は「医療・介護・教育」の各部門において、将来を見据えた多角的な取り組みを開始しています。

一方で、日本では少子高齢化と人口減少が急速に進行しており、医療・介護を含む既存の社会保障制度の持続が困難な状況にあります。こうした中、太陽会は自らの使命とビジョンを明確にし、持続可能な組織を目指して構造改革を推進しています。

医療部門では、自由診療であり、当院の強みでもある健診部門の強化を図るため、2026年春の移転を目指し、独立型の「総合健康管理センター」の開設準備を進めています。

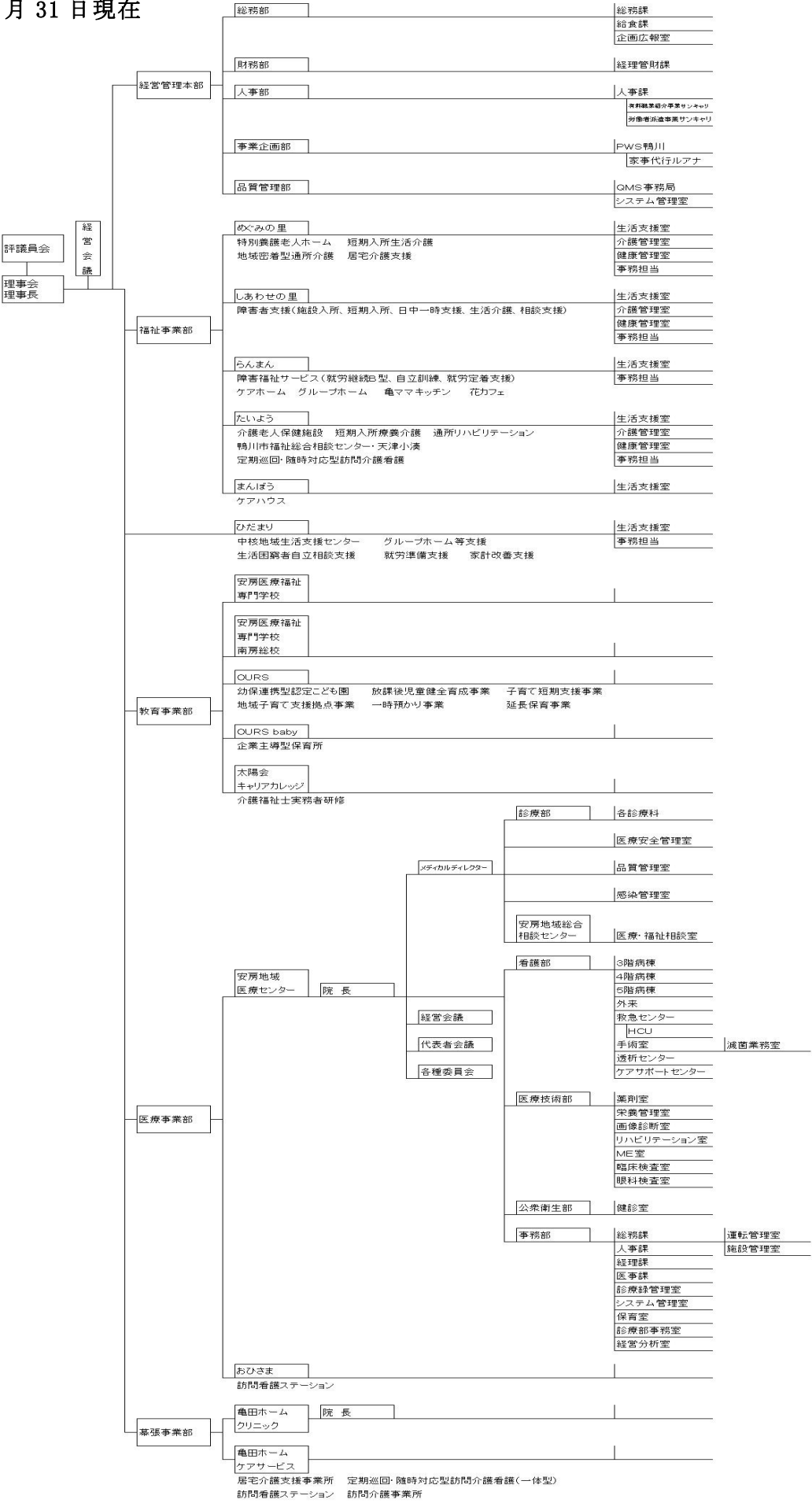
福祉部門では、ニーズの変化に対応するため、各施設の構造や運用の見直しを行うとともに、広報活動を通じて地域への周知を強化していきます。

教育部門では、日本人学生の募集活動に加え、ベトナムのドンア大学との連携強化、さらに東アジアを中心とした各国からの留学生の受け入れを推進します。また、学生の経済的・居住的な支援を含めた学習環境の改善にも取り組んでまいります。

現在、日本は社会構造の大きな転換期にありますが、太陽会はそのパイオニアとして、新たな社会の構築に貢献してまいります。

理事長 亀田信介

1. 組織体系図
2025 年 3 月 31 日現在



2. 事業所の概要

事業所名	管理者	所在地	電話番号
特別養護老人ホーム めぐみの里	茂木 修	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1222 番地 1	04-7098-1000
介護老人保健施設 たいよう	西野 洋	〒296-0043 千葉県鴨川市西町 1011 番地 1	04-7093-7711
ケアハウス まんぼう	永井 広雄	〒296-0041 千葉県鴨川市東町 607 番地 1	04-7099-1331
障害者支援施設 しあわせの里	和泉 悟	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1243 番地 2	04-7098-1110
障害福祉サービス事業所 らんまん	鈴木 晃	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1245 番地	04-7098-1800
千葉県中核地域生活支援センター ひだまり	香田 道丸	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155 番地 安房地域医療センター敷地内	0470-28-5667
鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊	石井 めぐみ	〒299-5503 千葉県鴨川市天津 163 番地 1	04-7094-5800
安房地域医療センター	福内 正義	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155 番地	0470-25-5111
訪問看護ステーション おひさま	大友 可奈	〒294-0051 千葉県館山市正木 1314 番地 1	0470-29-7868
安房医療福祉専門学校	大塚 逸子	〒294-0007 千葉県館山市腰越 801 番地 1	0470-28-5100
安房医療福祉専門学校 南房総校	亀田 省吾	〒299-2712 千葉県南房総市和田町海発 1601 番地 1	0470-29-3700
認定こども園 OURS	米倉 和昭	〒296-0044 千葉県鴨川市広場 1726 番地 1	04-7099-0800
企業主導型保育所 OURS baby	千束 静子	〒296-0044 千葉県鴨川市東町 601 番地 1 Sun OURS 2 階	04-7096-5800
亀田ホームクリニック幕張 亀田ホームケアサービス幕張	本山 哲也	〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番地 23	043-307-5735 043-307-8331

3. 理事会・評議員会の開催状況

開催日	議題
【第1回】理事会 2024年4月23日(火) 決議の省略	【決議事項】 1. (仮称)OURS館山増築工事について 2. 公私連携幼保連携型認定こども園OURS館山の増改築に伴う資金計画、担保提供、その他借入条件について 3. 公私連携幼保連携型認定こども園OURS館山にかかわる民間金融機関からの借入について
【第2回】理事会 2024年6月6日(木) 午後3時00分より Sun OURS 3階会議室	【決議事項】 1. 2023年度事業報告について 2. 2023年度決算について 3. 理事候補者について 4. 施設長等の人事異動について 5. 組織図の改訂について 6. めぐみの里運営規程の改訂について 7. 安房医療福祉専門学校「学則」の一部改訂について 8. 評議員会について 【報告事項】 1. 職務執行状況(理事長)の報告について
【第1回】評議員会 2024年6月20日(木) 午後4時00分より Sun OURS 3階会議室	【決議事項】 1. 理事の選任について 【報告事項】 1. 2023年度事業報告について 2. 2023年度決算について
【第3回】理事会 2024年6月28日(金) 決議の省略	【決議事項】 1. 就業規則の一部改正について
【第4回】理事会 2024年7月19日(金) 決議の省略	【決議事項】 1. 三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社との受託契約について 2. 幕張事業の整備にかかる備品等の契約について 3. 経理規定の改訂について 4. 太陽有限責任監査法人との監査契約の締結について
【第5回】理事会 2024年8月15日(木) 決議の省略	【決議事項】 1. 施設長等の選任について 2. 安房医療福祉専門学校について
【第6回】理事会 2024年10月28日(月) 決議の省略	【決議事項】 1. 安房地域医療センターにおける眼科開設に係る設備資金の借入および眼科開設に伴う内装工事の発注について 2. 亀田ホームクリニック幕張開設に係る設備資金の借入について 3. 施設長等の選任について 4. (仮称)OURS館山保育備品購入について 5. 随意契約について 6. 外国人留学生奨学金等貸与規則の制定について

【第7回】理事会 2024年11月14日(木) 決議の省略	【決議事項】 1. 介護業務基幹システムの更新について 2. (仮称)OURS館山既存棟の改修工事について
【第8回】理事会 2024年12月7日(土) 午後2時00分より Sun OURS 3階会議室	【決議事項】 1. 2024年度上期実績及び資金収支補正予算(案)について 2. 経営健全化計画について 3. 就業規則等の改定について 4. 安房医療福祉専門学校南房総校に係る支援補助金交付におけるつなぎ資金借入について 5. 安房医療福祉専門学校南房総校に係る随意契約について 6. (仮称)OURS館山保育備品購入について 7. (仮称)OURS館山に係る随意契約について 8. しあわせの里に係る随意契約について 9. 安房地域医療センター胸部集団検診X線システム検診車(骨密度測定器搭載)について 10. 安房医療福祉専門学校「学則」の一部改訂と実習施設の追加について 【報告事項】 1. 職務執行状況(理事長)の報告について
【第9回】理事会 2024年12月27日(金) 決議の省略	【決議事項】 1. 安房医療福祉専門学校南房総校に係る随意契約について 2. 安房医療福祉専門学校南房総校に係る支援補助金交付におけるつなぎ資金借入について 3. 公私連携幼保連携型認定こども園OURS館山運営規程兼園則について
【第10回】理事会 2025年1月21日(火) 決議の省略	【決議事項】 1. 組織図の改訂について 2. ケアホームらんまん「指定共同生活援助(介護サービス包括型)」運営規程一部改正について 3. 安房地域医療センター入院セット業務提携契約について 4. アライアンス契約について
【第11回】理事会 2025年3月29日(土) 午後2時00分より Sun OURS 3階会議室	【決議事項】 1. 2024年度資金収支補正予算(案)について 2. 2025年度事業計画(案)について 3. 2025年度資金収支予算(案)について 4. 組織図の改訂について 5. 介護福祉学科の学生への千葉県社会福祉協議会奨学金貸付の連帯保証について 6. 安房地域医療センターの借入について 【報告事項】 1. 職務執行状況(理事長)の報告について

4. 監査

2024 年6月6日	会計監査法人監査 (令和5会計年度)	太陽有限責任監査法人 無限定適正意見
2024 年6月6日	監事監査 (令和5会計年度)	三亀 勝弘 監事 庄司 満治 監事 指摘事項なし

5. 県指導監査

2024 年5月 31 日	安房地域医療センター 保育所	指摘事項なし
2024 年 11 月5日 (書面審査)	企業主導型保育所 OURS baby	指摘事項なし
2025 年2月 13 日	特別養護老人ホーム めぐみの里	文書指摘 1件:(介護予防)短期入所生活介護 【指摘事項】 (介護予防)短期入所生活介護計画について 【改善状況】 ・施設サービス計画書作成者の欄に管理者を明記した。 口頭指摘 3件 助言 2件
	障害者支援施設 しあわせの里	※文書指摘 1件:生活介護 【指摘事項】 リハビリテーション加算について 【改善状況】 ・医師往診時の指示・確認を記録する。 ・ご本人又はご家族に個別支援計画書とは別にリハビリテーション計画書により、説明し同意を得る。 ・再発防止のための業務フロー図を改訂する。 口頭指摘 2件 助言 3件
	ケアハウスまんぼう	指摘事項なし
	認定こども園OURS	口頭指摘 2件 助言 1件

※文書指摘事項は 2025 年4月 17 日に、指摘事項改善状況報告書を提出し、受理されている。

6. ISO9001:2015 内部監査・外部審査

・福祉事業部

上期内部監査	2024 年5月1日～17 日 (内 11 日間)
再認証審査(※)	2024 年5月 22 日～24 日
認証更新日	2024 年 7 月 12 日 (有効期限 2027 年7月 23 日)
下期内部監査	2024 年 11 月5日～22 日 (内 14 日間)
サーベイランス審査(※)	2024 年 12 月 12 日～13 日

※BSI グループジャパン株式会社

・医療事業部

サーベイランス(継続)審査(※)	2024 年6月 27 日～28 日 2024 年 12 月 19 日～20 日
内部監査	2024 年 11 月5日～2025 年3月 31 日 (内 25 日間)
認証更新日	2023 年 12 月 11 日 (有効期限 2026 年 12 月 25 日)

※BSI グループジャパン株式会社

・安房医療福祉専門学校

サーベイランス(継続)審査(※)	2024 年7月 26 日 2024 年 12 月 24 日
内部監査	2024 年7月 31 日～9月 27 日 (内4日間) 2024 年 12 月 26 日～2025 年3月 11 日 (内4日間)
認証更新日	2023 年 11 月 27 日 (有効期限 2026 年 12 月 17 日)

※BSI グループジャパン株式会社

7. 地域における公益的な取組

- ・無料低額診療事業【安房地域医療センター】
- ・地域子育て拠点事業【認定こども園OURS】
- ・買い物支援(市地区社協との連携、車両の貸し出し)【特別養護老人ホームめぐみの里】

8. 事業展開について

安房医療福祉専門学校南房総校

2024 年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・安房医療福祉専門学校南房総校 開校 介護福祉学科 開設 入学定員 40 名(2年制) ・障害福祉サービス事業所らんまん和田事業所 開設 (障害福祉サービスらんまんの従たる事業所として併設) ・花カフェ(安房医療福祉専門学校南房総校学生食堂) 開設
2024 年 10 月	・日本語学科 開設 定員 40 名(1年制:4月入学) 20 名(1.5 年制:10 月入学)

幕張事業部(亀田ホームクリニック幕張、亀田ホームケアサービス幕張)

2024 年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・亀田ホームクリニック幕張 開設 診療所(内科・小児科) ・亀田ホームケアサービス幕張 開設 居宅介護支援/訪問介護相当サービス、生活援助型訪問サービス/訪問介護/訪問看護、介護予防訪問看護/定期巡回・随時対応型訪問介護看護
----------	---

※2024 年9月1日パークウェルステイト幕張ベイパーク(三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社)開業

認定こども園OURS館山(千葉県館山市北条 402 番地2)

2024 年4月 26 日	(仮称)OURS館山増築工事 契約締結
2024 年4月 29 日	(仮称)OURS館山増築工事 起工式
2024 年5月 2 日	(仮称)OURS館山増築工事 開始
2024 年 12 月6日	(仮称)OURS館山保育備品購入一般競争入札 実施(落札)
2025 年2月 28 日	(仮称)OURS館山増築工事 完了 引き渡し
2025 年3月 23 日	認定こども園OURS館山竣工式及び内覧会 実施
2025 年4月 1 日	認定こども園OURS館山 開園 幼保連携型認定こども園 定員 294 名 開園時間 5:30~21:30 延長保育事業/休日保育事業/病児保育事業(体調不良児対応型)/一時預かり事業

安房地域医療センター(眼科センター)

2024 年4月	事業計画の策定に着手
2024 年 10 月 28 日	理事会(決議の省略)に事業計画を提出 「安房地域医療センターにおける眼科開設に係る設備資金の借入および眼科開設に伴う内装工事の発注について」 承認
2024 年 11 月	眼科開設プロジェクト発足及び会議の開催(毎月1回) 改修工事、工事定例会(隔週) 開始
2025 年1月	新規スタッフ 採用 運用検討及びスタッフトレーニング 開始
2025 年2月	千葉県(安房保健所)による立入検査 実施 改修工事 完了 引き渡し
2025 年3月	千葉県による病院開設許可(一部変更使用) 承認 消防検査 実施 運用シミュレーション 実施
2025 年4月 1 日	眼科センター 開設

安房地域医療センター(安房総合健康管理センター)

2024 年4月	安房総合健康管理センター開設プロジェクト発足 事業計画の策定(前年度末より着手) 基本設計の作成(前年度末より着手)
2024 年6月	事業計画 完成
2024 年7月	基本設計 完成 実施設計の作成に着手
2024 年 11 月	金融機関への融資申し込み開始

【継続事業の前提に関する重要事象等】

当法人は、当事業年度においてもサービス活動増減差額のマイナスを計上しており、継続的なサービス活動増減差額のマイナスが生じております。また、当期資金収支差額のマイナスについても継続して計上しております。これらにより、継続事業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しております。

当法人は、当該状況を解消すべく、以下の施策に取り組んでまいります。

- (1)新規プロジェクトを新たな収益創造の軸と捉え、既存の事業とのシナジー効果を加速することで企業価値向上に努めてまいります。
- (2)新規に開始した事業の本格稼働や施設の稼働率向上等、ニーズにマッチした最適なサービスを提供することで収益力の拡大を目指します。
- (3)人員の適正配置や業務効率化等、コスト管理の徹底を図り、物価高騰等の外的要因に耐えうる財務基盤の強化を目指します。

なお、当法人では、当期末現在の現金預金残高は 1,583 百万円、当期末支払資金残高は 853 百万円であり、重要な資金繰りの懸念はありません。したがって、継続事業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

9. 職員の動静

正雇用		2024 年3月末時点			2025 年3月末時点			差		
		正職員	嘱託・契約	パート・アルバイト	正職員	嘱託・契約	パート・アルバイト	正職員	嘱託・契約	パート・アルバイト
経営管理本部		39	7	26	40	5	30	1	-2	4
福祉事業部	めぐみの里	61	9	23	59	7	27	-2	-2	4
	しあわせの里	38	2	20	35	2	18	-3	0	-2
	らんまん	13	2	14	12	2	15	-1	0	1
	たいよう	60	7	25	58	9	32	-2	2	7
	まんぼう	5	0	3	4	0	2	-1	0	-1
	ひだまり	5	1	0	5	1	0	0	0	0
	天津小湊	3	2	0	3	2	0	0	0	0
	PWS 鴨川	17	4	1	21	5	9	4	1	8
教育事業部	安房医療福祉専門学校	15	2	0	13	3	0	-2	1	0
	南房総校	—	—	—	6	3	1	6	3	1
	OURS	52	5	31	54	5	32	2	0	1
	OURS baby	21	3	9	22	3	11	1	0	2
PWS 幕張ベイパーク		—	—	—	24	2	7	24	2	7
安房地域医療センター		389	37	107	393	40	115	4	3	8
全 体		718	81	259	749	89	299	31	8	40

10. 労働災害の発生状況

正雇用+非正雇用	業 務	通 勤	計
経営管理本部	2	0	2
福祉事業部	1	0	1
教育事業部	2	0	2
幕張事業部	2	0	2
安房地域医療センター	18	2	20
全 体	25	2	27

11. 年間の休暇・休職の状況

正雇用+非正雇用		産前 産後	育児	介護	育児/ 介護短時間	休職/ 傷病	その他	計
経営管理本部		0	0	1	0	3	0	4
福祉事業部	めぐみの里	2	2	0	2	2	0	8
	しあわせの里	0	0	0	0	4	0	4
	らんまん	0	0	0	0	1	0	1
	たいよう	3	7	0	1	2	0	13
	まんぼう	0	0	0	0	0	0	0
	ひだまり	0	0	0	0	0	0	0
	天津小湊	0	0	0	0	0	0	0
	PWS 鴨川	0	0	0	0	1	0	1
教育事業部	安房医療福祉専門学校	0	0	0	1	0	0	1
	南房総校	0	0	0	0	2	0	1
	OURS	5	2	0	4	3	0	14
	OURS baby	2	2	0	2	1	0	7
PWS 幕張ベイパーク		0	0	0	0	2	0	2
安房地域医療センター		6	6	2	14	22	0	52
全体		18	19	3	24	43	0	107

12. めぐみの里（特別養護老人ホーム）

【事業及び定員】

・特別養護老人ホーム	78 名	・居宅介護支援（太陽会ケアプランセンター OHANA）
・地域密着型特別養護老人ホーム	20 名	・介護予防事業（短期、通所、居宅）
・短期入所生活介護	12 名	・介護福祉士実務者研修（太陽会キャリアカレッジ）
・地域密着型通所介護	18 名	・鴨川市ひまわり配食サービス

【運営実績】

2024 年度は、安定した施設運営、収支状況の回復を念頭に、入所、通所とも高稼働率を維持できるよう努め、介護報酬改定に伴う変更点についても速やかに対応し、年度の前半は順調なスタートを切ることができたが、年度の後半に新型コロナウイルス感染症やその他の感染症と思われる症状のある方が多数発生し、居室の閉鎖やショートステイの利用停止を余儀なくされ、特に3月についてはショートステイがほぼゼロに近い形となり、収支状況においても大きなダメージとなった。

また、入所ご利用者に関しては、居室の閉鎖等で窮屈な思いをさせてしまった時期もあったが、それ以外の場面では行事や外出等を実施し、ご利用者の笑顔が見られるよう活動を行った。生活支援室・介護管理室・健康管理室の3室合同で品質目標を掲げ、多職種連携・協力をしながら、品質目標計画書に基づき、業務に取り組んだ。

◆ サービス提供実績

	入 所	ユニット	短 期	通 所
稼働率	96.9%	96.0%	74.8%	76.7%
平均年齢	88.1 歳	88.5 歳	88.7 歳	85.1 歳
最高年齢	104 歳	99 歳	102 歳	99 歳
最低年齢	63 歳	75 歳	72 歳	43 歳
平均介護度	3.9	3.8	3.1	2.5
新規利用者数	18	5	27	24
退所者数	18	5	—	—

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・高稼働率の維持を図るため、サービス調整会議、空き情報管理、関係機関との連携、営業活動を継続して行った。
- ・毎月の会議で光熱水費、使用量等の報告を行い、職員のコスト面への意識づけを図った。
- ・物価の高騰が続き、費用が膨らむ形となった。食材料費については、取引業者の見直しを実施し、5～6%の削減をする事ができたが、現在は米の価格が高騰しており、対応が求められている。
- ・通所に関しては、レクリエーション活動の充実やケアマネへの営業を継続し、新規ご利用者の獲得に努めることで目標の稼働率 75%をクリアすることができた。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・サービスの質の向上のため、資格の取得に努めた。施設運営に必要な資格もあるため、人事異動等により、必要な人数を下回らないよう調整を行った。
- ・業務の見直しを図り、柔軟な勤務体制を構築するという目標に対して、業務改善、ヘルプ機能の強化のため、職員のグループ間移動を継続して行った。
- ・働きやすい環境整備のため、設備の修繕に関しては、優先順位をつけ必要なものから随時実施した。

◆ 地域社会への取組み

- ・行政や各団体等の関係機関が開催する研修や会合に参加し、地域における課題等の情報共有を図った。
- ・感染対策を実施しながら、対面での面会の実施、介護サービス相談員の訪問活動、看護・介護の実習の受入など、ご利用者が施設外の人と触れ合える機会を確保するよう努めた。
- ・引き続き、大山地区社会福祉協議会の買い物支援に対し、車両の貸し出し支援を行った。

【居宅介護支援】(太陽会ケアプランセンター OHANA)

1. 運営状況

ご利用者が在宅で安心して生活できるようサービスの調整・支援に努めた1年だった。

介護報酬改定への対応、報酬改定に伴う加算の変更、料金変更等の説明、BCPの策定、高齢者虐待防止研修への参加、介護支援専門員実務研修の受け入れ等も実施した。

2024年9月にケアマネジャーが1名増員され、7名体制となった。

2. 月別請求件数

2024.4.1～2025.3.31(人)

状態区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1～5	176	176	175	176	175	177	186	177	173	179	180	178	2,128
要支援1～2	43	48	50	48	47	47	48	50	46	53	49	55	584
合 計	219	224	225	224	222	224	234	227	219	232	229	233	2,712

【介護福祉士実務者研修】(太陽会キャリアカレッジ)

2016年度の介護福祉士国家試験の受験資格が実務経験年数3年から実務経験年数3年+450時間の実務者研修終了が義務づけられ、当法人ではご利用者に質の高いサービスを提供できるよう、また職員がキャリアアップを目指し仕事にやりがいを感じられるよう、プロフェッショナルな人材の育成・確保を目的に2017年度から4月、6月、8月、10月、12月、2月の6期(各定員20名)の開校。

2024年度の実績としては、5月コース(鴨川市の助成金などの関係で1カ月遅れて開講)に太陽会内部から2名、外部から6名の計8名が受講している。

2025年度からは、場所を安房医療福祉専門学校南房総校に移し、実施している。

13. たいよう（介護老人保健施設）

【事業及び定員】

- ・介護老人保健施設 100 名
- ・(介護予防)短期入所療養介護 空床利用型
- ・(介護予防)通所リハビリテーション 1 日利用型 40 名 短時間利用型 20 名×3 枠
- ・定期巡回随時対応型訪問介護看護(ケアサポートセンターMOANA)

【運営実績】

- ・ご利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援することを目指し、ご利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供した。
- ・介護報酬の改定により、新たに設定された加算について、費用対効果を考えながらも積極的な算定に努めた。入所部門では、既存の加算に新たな区分が加わったものも含め、新たに7種類の算定ができた。
- ・稼働目標では、入所部門では7月にクラスターが発生し、以後、ベッド稼働率を以前の水準にまで戻すことができず、稼働率が年間を通じて低迷したままになってしまった。通所部門でも1月にクラスターが発生し、事業を一時中断した事と、その後の利用控えにより年間の利用率の平均が下がった。
- ・エレベーター設備、電話設備、ナースコール設備の更新を行った。

◆ サービス提供実績

施設利用率実績

介護老人保健施設 (介護予防)短期入所療養介護	延べ利用人数 32,391 人	稼働率 88.7%
(介護予防)通所リハビリテーション	延べ利用人数 8,640 人(1 日利用型) 8,853 人(短時間利用型)	延べ利用人数 66.9%(1 日利用型) 71.9%(短時間利用型)
ケアサポートセンターMOANA	延べ利用人数 59 人	月平均利用人数 5.4 人

所定疾患施設療養費Ⅱの算定状況

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
肺炎	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8
尿路感染	23	27	13	21	30	8	56	4	19	8	15	25	249
带状疱疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蜂窩織炎	0	0	7	6	0	10	0	10	0	6	12	1	52
慢性心不全の憎悪	10	10	0	0	10	0	0	0	10	0	0	0	40

※ 所定疾患施設療養費の算定状況は、公表義務情報。

◆財務基盤の強化へ向けた取組み

入所サービスの在宅復帰支援・在宅療養支援機能加算の取得

- ・既に入所しているご利用者は、利用目的が在宅復帰を目指した入所ではないことが多く、今から在宅復帰に向けることが困難であり、指標の点数に届かず、算定ができなかった。
- ・今後、新たに入所するご利用者では、安房地域医療センターとの連携によるミドルステイ型の利用の枠組み作りを進めたが、今年度は成功しなかった。館山には老健が多いことから、たいようは距離が遠いことが大きなハンデとなり、あまり実績をあげられなかった。

◆人材育成と職場環境の整備

人材育成

- ・教育担当者を中心に年間計画を立て、計画的に研修や訓練を行った。
- ・2024年4月以降の介護報酬の改定によって、新たに義務化された研修や訓練のほか、加算を算定することで必要となる研修や訓練が加わり、義務的な研修や訓練が大きく増えた年であった。

職場環境

- ・ナースコールと電話設備を併せて更新を実施した。それにより、端末がナースコールと電話が1つのシステムとして使えるようになり、利便性が飛躍的に向上した。

◆地域社会への取り組み

- ・長狭高校の医療・福祉コースへの講師の派遣を継続した。
- ・地区社協に参加するなど、地域活動への貢献を継続した。
- ・市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担った。
- ・津波避難ビルとして鴨川市の指定施設の登録をしている。近年では大規模な震災に対する備えが求められるようになったことから、地域住民の一時避難場所として安全と安心に寄与している。

◆行事及び会議等

行事

- ・毎月1回程度の行事を予定していたが、入所と通所で、それぞれクラスターが発生したことから、実施が大幅に制限された。
- ・消防訓練や設備の維持点検は、法令に則って適切に行った。

会議

- ・法令等または施設の規則で定められた会議体は、原則としてその定めに従って開催した。臨時に必要な会議等や所属ごとに行う会議は、適宜開催した。

〔法令等の定めによるもの、介護給付の加算の算定に必要なものなど〕

業務継続(BCP)委員会(災害・感染症) 労働衛生委員会 安全対策委員会

身体的拘束等適正化委員会 虐待防止等対策委員会 感染症・食中毒対策委員会

終末期ケア委員会 給食会議 生産性向上委員会 MOANA運営推進会議

14. まんぼう（ケアハウス）

【事業及び定員】

・軽費老人ホーム(ケアハウス) 50 名

【運営実績】

今年度も、利用率を上げることに力を入れてきたが、同時期に空き居室が複数発生してしまったため、思うように伸びなかった。しかしながら、入居時のタイムロスを最小限に留めることで、年間 95.2%の利用率まで持ち直すことができた。また、人員配置を見直したことにより、前年度よりも支出を抑えることができた。

地域との関わりを多くする目的で、ご利用者と共に、施設周辺のゴミ拾いや環境整備を行ってきたが、結果的に、ご利用者の気分転換にも繋がった。

ご利用者の「まんぼうで長く生活したい」という思いに寄り添うため、ケアプランを計画するケアマネジャーや家族などと、密な話し合いを持つことで、医療機関との連携や外部の介護サービスを、適切に利用できるように進めてきた。

今後も、安定した経営と、ご利用者が笑顔でいられる施設づくりを進めていく。

◆ サービス提供実績

施設利用率実績

稼働率	平均年齢	最高年齢	最低年齢	平均介護度	新規入居者数	退所者数
95.2%	84.1 歳	98 歳	74 歳	1.1	10	12

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・施設利用率の向上を最重要課題として取り組み、年平均 95.2%の利用率を維持することができた。
- ・外部の福祉サービス(訪問介護、訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス等)を利用していただくことで、入居継続期間を延ばし、ご入居者の「まんぼうで長く生活したい」という思いに寄り添うことができた。
- ・ホームページやXを利用し、多くの方にケアハウスまんぼうを知っていただくことで、施設利用に繋げていく取り組みを行った。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・高齢者虐待防止や身体拘束適正化、感染症予防、事故発生防止、BCP、ハラスメント防止対策等の各指針に基づいた研修を確実にを行い、また、法人内研修を全職員が受講したことで、職員、一人ひとりのスキル向上と、業務への取り組み姿勢の向上を伺うことができた。
- ・既存のシステムを活用し、研修報告や職員間のコミュニケーションツールとしての幅を広げてきた。それにより、ペーパーレス化を推進した。

◆ 地域社会への取り組み

- ・ご利用者と共に、施設周辺のゴミ拾いや環境整備を行うことで、地域の方々との接点を増やす取り組みを行った。
- ・地域で暮らす方々の一助になれるよう、医療機関や他の高齢者施設、介護サービス事業所等と連携を深め、ネットワークを広げて活用した。

◆ 行事及び会議等

- ・各指針に基づいた、各種会議や委員会を開催し、業務や高齢者介護、支援の現状を取り巻く問題点を、随時、検討し職員間で共有することができた。
- ・行事では、月に1回、定例の買い物デーや、車を利用しての外出デー。また、折り紙やカラオケ、体操などのクラブ活動も活発に行い、天気の良い日には、施設周辺の環境整備を行うことで、気分転換や季節を感じてもらい取り組みを行った。

15. しあわせの里（障害者支援施設）

【事業及び定員】

・施設入所支援	70 名
・生活介護	70 名
・短期入所	10 名
・相談支援事業	

【運営実績】

ご利用者本位の支援を基本とし、ご利用者の思いや要望を、個別支援計画に反映したケアを実施した。

コロナ禍以降、行事や外出の機会が減少し、ご利用者の不満やストレスも増加していたが、スタンダードプログラムを講じながら、ご利用者が選択できる外出や食事イベント、ご家族を招いての行事、障害者施設同士の交流会（オセロ大会・ボッチャ大会）を実施した結果、満足度調査の項目でも、前年度を上回った。

また、職員の負担を軽減するため、課題管理を通して DX や ICT の活用を推奨し、業務改善に取り組んだ。SNS を活用したご家族との連絡体制の整備と、ご利用者の買い物代行の業務効率化を実施した。

稼働状況について、下半期にご利用者の入院により稼働が低下し、施設入所支援が、前年比－0.3%、生活介護で－0.6%と若干、前年度を下回ったが、短期入所は＋8.6%と大幅に増加した。これは感染症による大きなクラスターが起こらなかったことが要因で、相談支援事業も＋2 件/月と増加した。

外国人職員も増えており、日本人職員も含めて職員教育・研修に取り組んだ。施設内では、虐待防止・身体拘束適正化・自然災害や感染症による BCP（事業継続計画）研修・シミュレーション訓練を実施した。施設外では医療的ケア（喀痰・吸引・経管栄養）・ケアガイドライン、職員の視野を拓げるために障害者施設の大会や研修に参加し、職員のスキルアップを図った。

◆ サービス提供実績

施設利用率実績

事業種別等	目標値	2024 年度	2023 年度
施設入所支援	98.5%	97.7%	98.0%
生活介護	95.0%	93.0%	93.6%
短期入所	70.0%	69.3%	60.7%
相談支援事業	20 件/月	22 件/月	20 件/月

◆ 財務基盤の強化に向けた取り組み

- ・感染症に対する職員意識の向上で、大きなクラスターが発生せず、短期入所の利用制限を実施することなく、サービスを提供することができた。
- ・施設入所は満床だったが、下半期に体調不良等によるご利用の長期入院が増加した。
- ・物価や燃料費の高騰に対して、節電等のコスト削減に努めた。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・障害者支援、虐待防止、身体拘束適正化、BCP(事業継続計画)感染予防、災害対策の他、生産活動や障害者施設全国大会、医療的ケア、ケアガイドラインに関する研修に重点を置いた。
- ・2024 年度から採用した外国人職員 2 名への教育に重点を置いた。
- ・施設設備の老朽化に伴い、らんまんの空調設備の新規入替工事を実施した。

◆ 地域社会への取り組み

- ・当施設でも自然災害に備えて BCP の策定やシミュレーション訓練を実施した。また地域の福祉避難所として鴨川市と連携検討を図った。
- ・少子高齢化問題地域の人材不足に対して、積極的に近隣の学校等から実習生の受入を実施した。

◆ 行事及び会議等

・行事

- 4月 お花見
- 5月 食事外出・かっぱ寿司・ココス ラーメン・焼きそば中里
- 6月 スイーツ外出ミニストップ道の駅ワオ オセロ大会
- 7月 シーサイドベース濱野食堂
- 8月 夏こそフラッペ花カフェ
- 9月 花火 ジェラート
- 10月 パフェ外出 花カフェ
- 11月 紅葉外出佐久間ダム・花カフェ ボッチャ大会
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年会 カップラーメンデー
- 2月 節分豆まき・スシロー
- 3月 ご家族とラーメン、やきそば、からあげ

・会議

- 施設内経営会議 虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会 感染管理委員会
- 施設内安全管理委員会
- ※各指針等に基づき定例で開催。

16. らんまん（障害福祉サービス事業所）

【事業及び定員】

・就労継続支援B型	38 名	従たる事業所（らんまん和田事業所）	10 名
・自立訓練（生活訓練）	6名		
・共同生活援助（グループホーム星の砂）	7名		
・共同生活援助（ケアホームらんまん）	18 名		

【運営実績】

当事業所では、地域共生社会の実現と、ご利用者の社会参加の促進を目指し「らんまん和田事業所（従たる事業所）」と、安房医療福祉専門学校南房総校学生食堂「花カフェ」の運営をスタートした。

従たる事業所、花カフェの運営は共に順調に推移した。とくに「花カフェ」は一年を通し、学生、地域住民、隣接する安房拓心高校職員の皆様など、一日平均約 50 人のご来店をいただき、リピート率も高く、多くの方の交流の場であり、ご利用者の活躍の場にもなっている。さらに、作業活動の現場実習の受け入れにより、特別支援学校卒業生6名の新規利用にもつながった。この他、農福連携の作業活動でも、地域社会とのつながりと地域貢献のための重要な活動の一つとなった。

就労継続支援B型の報酬評価の指標である作業工賃平均額は、多くの方のご理解やご協力を得て24,421 円で昨年度を上回った。その一方で、2年間の有期限サービスの自立訓練（生活訓練）の施設利用率は、年度途中での就労継続B型へのサービス変更が生じたことが影響した。

グループホームについては、ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる生活支援サービスに努めた。結果として安定的な経営を維持することができた。

また、今後を見据え、ご利用者の高齢化・重度化に、より手厚く柔軟な対応が可能なサービス提供体制を構築するため、2025年4月1日より「グループホーム星の砂」と「ケアホームらんまん」の運営を一元化する変更手続きをすすめた。

◆ サービス提供実績実績

施設利用率実績

事業種別等	施設利用率
就労継続支援 B 型	93.1%
自立訓練（生活訓練）	47.9%
グループホーム星の砂	99.3%
ケアホームらんまん	99.9%

作業工賃額等実績

項 目	金 額
年間売上額	39,078,352 円
平均工賃額	24,421 円

※令和5年度 全国平均額 23,053 円
千葉県平均額 20,932 円

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・各事業所とも感染症等による施設利用率の大きな落ち込みもなく順調に推移した。
就労継続支援B型の報酬評価につながる作業工賃額の向上に取り組み 20,000 円台を維持、物価高騰に対応しながら経費の低減に努めることで安定的な経営を維持することができた。
- ・利用契約者の確保及び利用率向上の取り組みとして、利用希望者の方に花カフェでの作業活動体験の場を提供し実習生を受け入れ、6名の新規利用につながった。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・和田事業所、花カフェのスタートを機に、人員配置、業務分担について定期的な検証、見直しを何度も行った。また、各部署間の相互連携、兼務割合の調整をこまめに行うことで、さらなる連携の強化にもつながった。
- ・障害者支援、虐待防止、身体拘束適正化、感染予防、災害対策の他、生産活動に関する研修を中心に、より質の高いサービス提供に繋る研鑽に努めた。

◆ 地域社会への取り組み

- ・「花カフェ」「亀ママキッチン」を中心に学生、地域住民の交流の場、ご利用者の活躍の場として運営。多くの方々にご来店いただき、障害を持たれた方の社会参加と共生社会の実現を目指す当事業所の取り組みについて知っていただく機会にもつながった。
- ・「農福連携」の作業活動において、農家さんからの受託件数を増やし、後継者、人手不足の一助になることで地域貢献につながるよう努めた。この活動がご縁で、2025 年度以降の施設食食用米穀の取引にもつながった。

◆ 行事及び会議

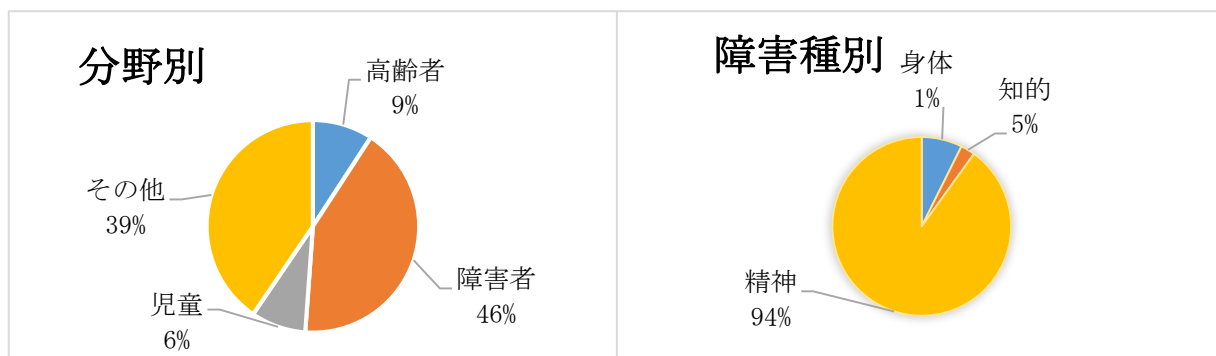
- ・行事については、らんまん、グループホームで季節のイベントを月 1 回程度実施した。
- ・各種会議、委員会は、障害者総合支援法及び、各指針等に基づき定例で開催した。

17. 千葉県中核地域生活支援センター ひだまり

◆ 包括的相談支援事業

制度の狭間にある人、複合的な課題を抱えた人等を、分野横断的に幅広く受け止め、相手方に寄り添った支援を行う総合相談事業。2024年度の総相談件数は3,748件(うち新規相談者数は82人)、分野別では障害>高齢>児童と続くが、どの分野にも属さない「その他」も多いのが特徴。

相談内容は、希死念慮や自殺企図、ひきこもり、就労支援、仕事や住居への不満、夫婦間の問題、多重債務、進路が決まらぬままの卒業でつながりを失う要支援者等、多岐に渡り、それぞれの専門機関と連携をしながら支援を行った。



◆ 地域総合コーディネート事業

安房圏域の地域課題を把握し、行政や各分野の支援者と問題意識を共有。互いのネットワークの強化を図った。2024度の新たな取り組みとして、フードバンクの拠点を安房圏域に設置する取組みに参加し、フードバンクちばの支援を受けて「フードバンク安房」を地域の協力団体と共に2024年11月6日に開所することができた。その他、定期的に行っているスクールソーシャルワーカーとの連携会議や、ひだまり独自の居場所づくり「あつまり」も継続して行っている。また、南房総ひきこもり支援協議会、南房総市ひきこもりプラットフォーム実務者会議、高次脳機能障害家族と支援者の会、視覚障害者当事者の会等に参加し、地域の活動の場を拡大している。

◆ 権利擁護事業

本人や家族が認識していない権利侵害や、権利を有しながらも必要な支援を受けられていないケース等、権利擁護についての積極的な把握に努め、地域自立支援協議会権利擁護部会主催の障害者差別解消支援地域協議会研修の企画・運営を実施。児童虐待では、安房圏域3市1町すべての要保護児童対策地域協議会に参加、ひだまりで関わっているケースの情報提供等を積極的に発信した。高齢・障害分野も同様に、各市町の虐待防止ネットワークの委員として参加し、再発防止に努めた。

◆ 市町村バックアップ事業

関係者や関係機関からの求めに応じて、助言等の支援を行い、市町村や各相談支援機関のスキルアップを図り、地域全体の対応力の向上を図った。今年度は地域包括ケア連絡会の協力の下、重層支援体制整備事業についての勉強会を2回開催。既に重層的支援体制整備事業を行っている木更津市の市役所及び社会福祉協議会、千葉保護観察所の保護観察官の方を講師として招いた。参加者は行政機関や社会福祉協議会等に留まらず、病院相談員、ひきこもり家族会理事、相談支援専門員等様々な職種が見られ、重層的支援体制整備事業への関心の高さが伺えた。

◆ 障害者グループホーム等支援事業

安房圏域のグループホーム及び生活ホーム(以下「GH 等」という)は、2025 年 3 月末現在 31 法人 127 住居となり、定員数 545 名となっている。近年、障害者 GH の課題として、「GH の支援の質」と、強度行動障害や医療的ケア、入居者の高齢化に伴う身体介護等の専門分野に対応できる GH が少ないという課題があり、それぞれに対しチームに分かれ、視察の実施やスタッフへの教育内容や、対応方法等どのような体制が必要であるかを研究し、講座を通して発信した。

※当該事業については、2025 年度より支援ワーカー設置場所をしあわせの里に変更。

安房圏域の GH の推移

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
住居数	37	41	51	53	58	68	85	87	93	117	123	124	127
定員数	116	175	226	231	249	294	370	390	413	508	531	534	545

◆ 生活困窮者自立相談支援事業

既存の制度では十分に対応できなかった生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立相談支援等を実施。定期的に支援調整会議を開催し、関係機関との情報共有やプラン内容の評価等について協議し、連携体制を構築した。受託事業は以下 3 事業で鋸南町を担当。

a. 自立相談支援事業 b. 就労準備支援事業 c. 家計改善支援事業

本年度は 20 人の生活困窮者に対して支援した。長期目標を立て、短期目標の成功体験を積み上げることを基本とした支援を行った。多くは繋がりにくさを感じる相談者だが、ひだまりの居場所づくりに繋がったケースもあった。毎月の支援調整会議や緊急対応に寄り添う中で、関係機関との連携は強化されており、町からの介入依頼も増えている。2024 年度は県外から移住した複数の方の就労準備支援を行い、地域で安定した生活を送ることが出来るよう支援を行った。

◆ 校内居場所づくり事業

家庭環境など様々な要因により生活困難な状況にある子どもを早期に発見し、福祉的支援に繋げる目的で、2 年間のモデル事業として県から受託した。前年度から準備期間として学校側と協議を繰り返し、2023 年 6 月から開始した。生徒たちの投票により「ゆるかふえ」と命名し、行政、社会福祉協議会、相談支援事業所、時には亀田ファミリークリニック医師、安房医療福祉専門学校の生徒ボランティア等の協力を得ながら、高等学校内で月 1 回（原則）開催した。参加生徒数は平均 70 名前後と増加傾向となっており、食料支援に加え、学校以外の人と関われる場として、開催の意義を感じている。2025 年度も県の事業として継続することが確定したが、自走に向けて食品確保などが課題となっている。その中で、フードバンク安房の運営メンバーとして寄付等を通して校内居場所の食品提供に繋げる活動を開始した。今後は県のモデル事業終了後の自走に向けた運営費用等の確保も必要となることから、来年度以降の課題として取り組んでいくことになった。

18. 鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊

【運営実績】

前年度に引き続き、総合相談や介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメントや権利擁護等の各事業を行った。総合相談の相談件数は前年度に比べ微増傾向で、複合的な課題を抱える事例や認知症の方の事例が増えており、鴨川市福祉総合相談センターをはじめとして各関係機関と連携しながら対応した。また、認知症機能強化型包括支援センターとしての活動については、認知症関連の各会議への参加や介護教室、市内在宅系介護サービス事業所に勤務する職員を対象とした「認知症支援に関する困りごと」アンケート等を行った。今後は現在の活動を継続していく他に、活動の中で得た本人や家族、介護者の意見を基に、認知症支援を検討していく必要がある。

◆ 総合相談事業

相談受付実績 276 件

高齢者	障害者	児童	DV その他	合計
263 件	4件	0件	9件	276 件

- ・昨年と比較し微増している。高齢者の相談は介護保険申請やサービスの相談が半数を占めている。
- ・高齢者相談においても介護者に支援が必要な事例等、対応が困難な事例が増加傾向。

◆ 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防請求件数 1,050 件

鴨川市福祉総合相談センター天津小湊	委託	合計	委託率
584 件	466 件	1,050 件	44.4%

介護予防ケアマネジメント(介護予防・生活支援サービス事業) 396 件

鴨川市福祉総合相談センター天津小湊	委託	合計	委託率
206 件	190 件	396 件	48.0%

- ・介護予防支援や介護予防・生活支援サービス事業について、介護予防プラン作成やサービス調整を行い委託介護支援事業者に対し、介護予防支援計画書作成の指導等を行った。

◆ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

相談件数	困難ケース	個別支援会議の開催
34件	3件	3件

- ・介護支援専門員からの相談を受け付け、介護支援専門員の能力の向上を図りながら課題解決できるよう、他関係機関と連携を図りながら支援を行った。

◆ 権利擁護事業

年間権利擁護相談件数	成年後見制度利用支援相談数	虐待対応相談件数
2件	2件	4件(虐待の事実なし:4件)

通報・相談者内訳

本人	介護支援専門員	警察	病院関係者	合計
0件	1件	3件	0件	4件

虐待類型内訳

身体的虐待	心理的虐待	経済的虐待	合計
※2件	4件	0件	6件

※心理的虐待と重複。

・虐待を疑う相談があった場合には、速やかに鴨川市福祉総合相談センターや鴨川市福祉課に報告し、各関係機関と連携しながら対応した。

◆ 認知症総合支援事業

認知症初期集中支援チーム員会議	6回
認知症サロン(こんにちはカフェ)	12回
認知症家族のつどい	1回
認知症地域支援推進員会議	1回
介護教室	5回
認知症サポーター養成講座	7回
「認知症支援に関する困りごと」アンケート	2025年1月 実施

・認知症に関しての民生委員や家族等からの情報や相談等に対して個別支援を行うと同時に、認知症サポーター養成講座や認知症サロンの開催を通して認知症の普及啓発を行った。

・認知症施策の検討のため、介護教室や在宅系介護サービス事業所職員対象の「認知症支援に関する困りごと」アンケートを実施し、市民や介護事業所職員の介護に関する困りごとの把握に努めた。

◆ 研修参加報告

年間研修参加回数 78回

地域包括支援センター・介護保険関連研修	46回
虐待研修	10回
認知症関連研修	9回
医療関連研修	6回
災害関連研修	7回

19. 安房地域医療センター

1. 診療実績

(1) 入院	2022 年度	2023 年度	2024 年度	前年度比
のべ患者数(1 日平均)	50,342(138) 人	50,740(139) 人	51,706(142) 人	101.9%
新入院患者数	2,783 人	3,036 人	3,395 人	111.8%
退院患者数	2,794 人	3,058 人	3,367 人	110.1%
平均在院日数	18.4 日	16.9 日	15.4 日	91.1%
病床稼働率	92.6%	93.0%	95.1%	102.1%
診療単価	57,744 円	60,194 円	63,247 円	105.1%
診療収益(室料除く)	2,739,899,943 円	2,871,600,796 円	3,076,486,553 円	107.1%
(2) 外来	2022 年度	2023 年度	2024 年度	前年度比
のべ患者数(1 日平均)	146,658(484) 人	146,930(484) 人	149,992(495) 人	102.1%
(うち救急患者数)	16,107 人	18,381 人	18,876 人	102.7%
(うち救急搬送数)	2,978 人	2,818 人	2,849 人	101.1%
診療単価	13,005 円	12,974 円	13,142 円	101.3%
診療収益	1,877,901,630 円	1,881,100,376 円	1,941,821,995 円	103.2%
(3) 手術	2022 年度	2023 年度	2024 年度	前年度比
整形外科	628 件	597 件	703 件	117.8%
泌尿器科	166 件	283 件	294 件	103.9%
人工透析	52 件	54 件	49 件	90.7%
外科	23 件	47 件	173 件	368.1%
婦人科	12 件	10 件	10 件	100.0%
乳腺外科	0 件	15 件	37 件	246.7%
計	881 件	1,006 件	1,266 件	125.8%
(4) 心臓カテーテル	2022 年度	2023 年度	2024 年度	前年度比
実施件数	628 件	741 件	617 件	83.3%
(5) 人工透析	2022 年度	2023 年度	2024 年度	前年度比
実施件数	17,662 件	17,109 件	17,522 件	102.4%

2. 健診・検診実績

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	前年度比
実施件数	53,585 件	55,285 件	54,763 件	99.1%
保険予防活動収益	439,970,506 円	409,126,392 円	427,246,985 円	104.4%

3. 職員数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	前年度比
実人数(常勤換算)	662(542.1) 人	666(548.3) 人	681(558.4) 人	102.3%

入院患者数は、51,706 人(1 日平均 142 人)。前年度比+966 人、1.9%増となった。病床稼働率は 95.1%と 2021 年度の過去最高水準に迫る実績となったが、在院患者数のみならず入退院数が前年度比で 10%を超えて増加したことも大きな要因であった。2023 年度から取り組んできた医師常勤化をさらに推し進めたことや新たな治療法(手術)の開始、救急からの積極的な受入れが新入院数の大幅な増加につながったとともに、コロナ禍以降、初めて院内クラスター(による病棟閉鎖)が発生しなかったこともプラスに作用した。また、平均在院日数は 15.4 日となり、病床回転の上昇により前年度からは 1.5 日短縮された。

入院診療収益は 30 億 7,600 万円。前年度比+2 億 500 万円、7.1%増と前年度から大幅に増加した。手術料収益及び入院料収益の増加が主な要因であり、これらで全体の 80%以上を占めた。前者については、外科及び整形外科、乳腺外科での手術件数の増加、後者は、10 月からの地域包括医療病棟の導入(3F 病棟)や新入院数の増加に伴う診療単価の上昇によるものであった。なお、手術件数は、2年続けて 1,000 件を超えるとともに最多件数を更新した。診療単価は 63,247 円、前年度比+3,053 円。

外来患者数は、149,992 人(1 日平均 495 人)。前年度比+3,062 人、2.1%増となり、4年連続して過去最多を更新した。区分別では、一般外来を中心に救急、人工透析のいずれも増加した。一般外来では、整形外科をはじめとして、消化器内科、乳腺外科が増加しており、入院診療と同様に医師常勤化の効果によるものとなっていた。

救急については、救急搬送数は約 2,800 件とほぼ横ばいであったが、冬季の感染症の流行拡大が患者数を押し上げた。

人工透析については、2021 年度以降の患者数減少の流れに歯止めがかかり、4年ぶりに増加へと転じた。新規導入数が、数年前と比較して増加している中で、他院への転院を含む終了数を抑えられたことによるものであった。

外来診療収益は 19 億 4,100 万円。前年度比+6,000 万円、3.2%増となり、過去最高額を更新した。患者数に連動する形で画像診断や内視鏡を含む各種検査、化学療法の件数が増加したことに加えて、人工透析件数の回復、診療報酬改定を機に運用を開始した生活習慣病管理料の算定などが大きな増収要因であった。診療単価は 13,142 円。前年度比+168 円。

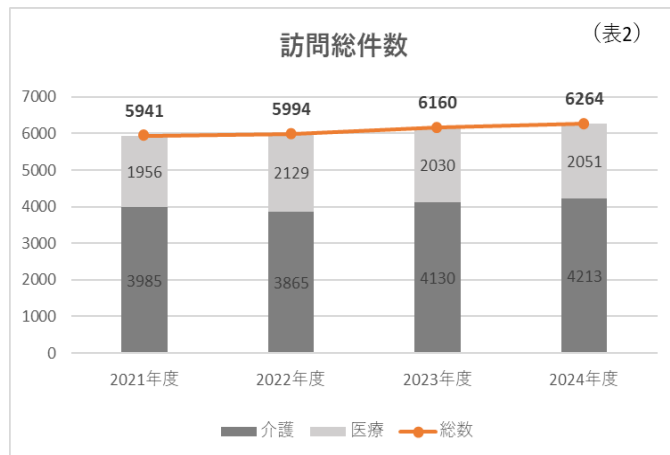
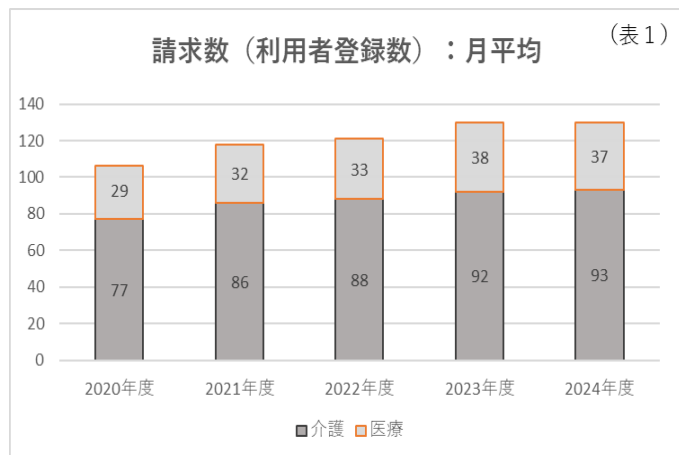
健診・検診については、ワクチン接種事業は縮小したものの、本業たる事業所健診や人間ドックはいずれも前年度から増加した。

2024 年度は、入外患者数の増加や病床機能の転換、手術・画像診断など行為別件数の増加が大幅な増収へとつながった。しかしながら、物価高騰による材料費・経費の増加など経営の圧迫要因は多く、また、診療報酬も実質的にはマイナス改定となるなど経営環境は厳しい状況にある。今後も全職員が一丸となり、あらゆる対策を講じていかなくてはならない。

20. 訪問看護ステーションおひさま

【運営実績】

登録利用者数は月平均 130 人と前年度から横ばいで推移している(表1)。利用者割合は介護保険7割、医療保険3割と経営基盤は比較的安定している。下半期に新規依頼が増加し、訪問総件数が増加する結果となった(表 2)。一方、2名の人員減少がありスタッフ1人1人の業務量や負担も増加した。業務負担の軽減、生産性の向上、人材育成などより一層注力する必要がある。



【2024 年度振り返り】

財務の視点＞

- 平均訪問件数 520 件/月以上を目標に掲げ、522 件/月の実績であった。
終末期の利用も多く、ターミナルケアなど適切な看護計画が実施されている結果と考える。医療保険利用者は流動的であり経営的に不安定な要素となるが、介護保険利用者 7 割を維持しており、基盤の安定化が図れた。
- 2024 年6月の報酬改定に伴い、体制整備を図り、上位基準の取得および減算予防となり増収に繋がった。

顧客の視点＞

- 円滑な入退院支援を目指し、Teams を活用した情報共有、退院前カンファレンスへの参加など、関係職種との密な連携を図った。また、退院直後から安心安全な療養生活の支援ができるよう、退院日同日の訪問を積極的に実施した。
- ケアマネジャーとの関係構築および強化のため、事業所回りを実施した。顔の見える関係性づくりによる心理的安全性が図れるとともに、気軽に報告・相談できる機会が増加し、双方にとってメリットは大きい。この取り組みが新規依頼の増加に寄与するものと考え、今後も継続する方針。

業務プロセスの視点＞

- 人員減少の環境下で、看護の質を担保しつつ、生産性の向上が求められた。経営方針の共通理解の徹底を図り、効率の良い訪問調整や訪問記録整備による負担軽減などの業務改善を実施した結果、稼働率が上昇した。
- 在宅の視点を養う院内教育を目的に、病棟看護師のおひさま研修を前年度より引き続き実施した。月1回の計画であったが、運用変更に伴い6名の受け入れに留まった。再度運用方法を見直し、連携強化および協働につなげていきたい。
- 特定看護師1名が在籍し、在宅での特定行為(気管カニューレ交換、胃ろう・膀胱瘻交換、慢性創傷の壊死組織除去)を定期的に行っている。連携医療機関は前年度と同様、安房地域医療センター・亀田ファミリークリニック館山の2施設となっている。特定看護師の周知に努め、利用者増加につなげていきたい。

学習と成長の視点＞

・終末期ケア専門士(1名)、在宅看護指導士(1名)取得した。

・各スタッフによる勉強会を月1回開催し、知識の共有に努めた。またシェアカンファレンスを月1回実施し、情報共有、困難事例の課題解決に努め、事業所全体のチーム力向上を図った。

【職員の配置状況】

看護職員 6名(常勤) 事務職員 1名

【業務内容】

1. 予防看護・地域看護・終末期看護・緩和ケア・家族看護・リハビリテーション等
利用者の想いに添い、期待以上のサービスを提供するために主治医や、その他関連職種との密な連携のもとに訪問看護を実施している。
2. 24時間緊急時対応体制
利用者やその家族からの連絡(状態の変化や療養上の不安等)に、主治医と連携を図りながら24時間対応できる体制を整備している。また必要であれば土・日曜日、祝日での計画的な訪問看護も実施している。

【カンファレンス・連携・教育】

1. 安房在宅カンファレンス 第2木曜日 17:00～
安房地域医療センターの訪問診療をしている総合診療科の医師と、共通の利用者について訪問内容や方針相談などリモートで情報共有している。
2. 亀田ファミリークリニック館山在宅カンファレンス 第3水曜日 17:15～
関係職種(医師、リハビリ、ケアマネジャー等)と共通の利用者について、Office365内 Teamsアプリを利用し日々の情報共有をしている。また、安房地域医療センターと同様に、共通の利用者についての方針決定やお看取り後の振り返りを月1回実施している。
3. 他院との連携
地域の開業医等からの訪問看護導入の相談が適宜発生し、各施設のソーシャルワーカーや担当医師、看護師との連携を図り対応している。また、必要時退院前カンファレンスへの参加も実施している。
4. 医療的ケア児等支援ワーキング
行政や障害福祉関係者と連携し適宜会議を実施している。
5. 教育
医療施設からの研修医見学など、積極的に受け入れをしている。安房地域の看護学校(亀田医療大学、亀田医療技術専門学校、安房医療福祉専門学校)からの実習生受け入れや、亀田医療大学の非常勤講師として在宅看護論の講義を担っている。
6. 特定行為
特定行為研修修了者が在籍し、主治医からの指示(手順書)にて対応している。

21. 安房医療福祉専門学校（看護学科）

【運営実績】

開校 11 年目の 2024 年度は9期生 33 名が卒業、32 名が看護師として安房地域医療センター(19 名)をはじめとする安房地域を主とした医療機関に就職した。過去9年間では294名の卒業生の内、240名(82%)が3市1町に就職し、安房地域医療の維持・発展に大きく寄与している。国家試験は新卒者で97%と目標の合格率 100%は達成出来なかったものの、教員による徹底した国家試験対策を1年次から試験直前まで実施した結果が十分に表れている。また、昨年度不合格であった3名の既卒者に対しても、しっかりとフォローを行い、1年で全員が合格となった。

学生募集においては、受験媒体を主とした情報発信を行い、資料請求者へオープンキャンパスへの参加や、受験促進といった対個人へのアプローチを実施、また高校訪問校を増加し、ガイダンスにも教職員が積極的に出向くなど募集活動を強化した。入試制度(日程増加・出願要件の緩和・試験内容の軽減)の変更、高校推薦指定校の追加、入試の追加実施も行った。しかしながら、看護師志望者の減少、大学志向及び難易度の低下、それに伴う専門学校の志願者の減少、競争の激化により、2025 年度の入学者数は 20 名(定員 40 名)と厳しい結果となった。なお、入学者の内、太陽会奨学金利用者は 18 名(90%)である。

・学生の状況(2025 年3月1日時点)

(1)性別

(人数)

	1年生(11 期生)	2年生(10 期生)	3年生(9期生)	合計
男性	5	5	6	16
女性	28	35	28	91
合計	33	40	34	107

(2)高校新卒者／社会人(高校新卒者以外)の別

(人数)

	1年生(11 期生)	2年生(10 期生)	3年生(9期生)	合計
高校新卒者	26	31	25	82
社会人	7	9	9	25
合計	33	40	34	107

(3)住所地(出身地)別状況

(人数)

	1年生(11 期生)	2年生(10 期生)	3年生(9期生)	合計
安房三市一町合計	16	13	10	39
館山市	8	8	6	22
南房総市	7	5	3	15
鴨川市	1	0	0	1
鋸南町	0	0	1	1
千葉県のその他の市町村合計	9	19	16	44
千葉県以外合計	8	8	8	24
合計	33	40	34	107

(4)学生寮入居状況

(人数)

	1年生(11 期生)	2年生(10 期生)	3年生(9期生)	合計
男性	3	2	4	9
女性	11	21	12	44
合計	14	23	16	53

・看護師国家試験(第114回)

	受験者	合格者	合格率	全国平均	備考
現役	33名	32名	96.9%	95.9%	本校の合格率は毎年全国平均(合計)を上回っている。 9回中4回は合格率100%。
既卒	3名	3名	100.0%	44.9%	
合計	36名	35名	97.2%	90.1%	

・卒業生(2025年3月)就職状況

就職先の所在地	人数
館山市	25名
鴨川市	1名
その他千葉県	5名
東京都	1名
神奈川県	1名
合計	33名

・オープンキャンパス(学校説明会含)参加者の推移(10年間)

(のべ人数)

開催年度 区分	2015 3期生	2016 4期生	2017 5期生	2018 6期生	2019 7期生	2020 8期生	2021 9期生	2022 10期生	2023 11期生	2024 12期生
高校3年生	89	45	61	64	44	43	59	76	52	26
社会人他	42	33	24	28	48	36	32	21	14	14
当年受験対象者計	131	78	85	92	92	79	91	97	66	40
高校1・2年生	25	29	18	37	22	4	12	9	11	9
参加者合計	156	107	103	129	114	83	103	106	77	49

・学校推薦受験者数と入学者数の推移(10年間)

年度 区分	2015 3期生	2016 4期生	2017 5期生	2018 6期生	2019 7期生	2020 8期生	2021 9期生	2022 10期生	2023 11期生	2024 12期生
①指定校	12	9	5	5	3	9	8	17	7	4
②公募	16	7	6	12	5	1	18	15	11	5
学校推薦計①+②	28	16	11	17	8	10	26	32	18	9
入学者数(全体)	43	37	33	40	36	34	42	43	33	20

・入学試験の状況(2024年度実施12期生)

(受:受験数 合:合格数 入:入学数)

日程 区分	A日程 (10/12)			B日程 (11/9)			C日程 (12/7)			D日程 (1/18)			E日程 (2/8)			3月追加 (3/8)			合計		
	受	合	入	受	合	入	受	合	入	受	合	入	受	合	入	受	合	入	受	合	入
指定校推薦	4	4	4	1	1	0	対象外						対象外			対象外			5	5	4
公募推薦	4	4	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0							5	5	5
社会人推薦	0	0	0	3	3	3	2	2	2	1	1	1				0	0	0	6	6	6
一般	対象外			3	2	1	4	4	3	2	2	1	0	0	0	1	1	0	10	9	5
合計	8	8	8	8	7	5	6	6	5	3	3	2	0	0	0	1	1	0	26	25	20

23. 安房医療福祉専門学校南房総校(介護福祉学科・日本語学科)

【運営実績】

安房医療福祉専門学校南房総校は、亀田医療技術専門学校での運営実績を踏まえ、経験を活かし、当地域をはじめとした介護人材不足及び地域の活性化を目的に、4月に介護福祉学科、10月に日本語学科を開設した。

県南唯一の養成校として南房総市はもちろん、広く当校の存在を知っていただき、国家資格である「介護福祉士」の取得の意義について認知してもらうよう努めた。

本校からの初めての卒業生として、今年度は32名が卒業した。うち21名が太陽会に就職している。「サンキヤリ」との連携により、派遣事業による就職先は、法人内施設にとどまらず、御宿町や千葉市にまで広がり、人材育成の拠点としての一步を踏み出した。

国家試験では、日本人受験者の合格率100%を達成した。留学生は53.8%であったが、全国の留学生ならびにEPA介護福祉士、特定技能介護、技能実習生介護の合格率が、平均30%台であることと比較すると、初年度にしては健闘したといえる。来年度は、さらに国家試験対策をブラッシュアップし、合格率100%を目指して努力したい。

学生募集においては、従来から取り組んでいる、提携先であるドンア大学(ベトナム)からの学生、「千葉県介護留学生受入プログラム」への参加に加えて、新たにインドネシア、ネパールなどからの受け入れルートを開拓した。また、安房地域に住む外国人からの口コミによる募集もあった。

2025年4月の介護福祉士学科入学生は、日本人1名を含む33名が入学した。日本語学科は12名が入学した。留学生の確保については、ルートが確立しつつあるため、日本人学生の確保が課題である。

・学生の状況(2025年3月1日時点)

(1)性別

(人数)

	日本語学科	介護福祉学科1年	介護福祉学科2年	合計
男性	1	2	5	8
女性	18	8	27	53
合計	19	10	32	61

(2)住所地(出身地)別状況

(人数)

	日本語学科	介護福祉学科1年	介護福祉学科2年	合計
ベトナム	5	10	25	40
インドネシア	10	0	0	10
ネパール	3	0	0	3
フィリピン	1	0	0	1
ドイツ	0	0	1	1
日本人	対象外	0	6	6
合計	19	10	32	61

(3) 学生寮入居状況 (鴨川市 川間アパート)

(人数)

	日本語学科	介護福祉学科 1 年	介護福祉学科 2 年	合計
男性	1	2	0	3
女性	17	8	10	35
合計	18	10	10	38

・介護福祉士国家試験(第 37 回)

	受験者	合格者	合格率	全国平均	備考
現役	32 名	20 名	62.5%	78.3%	新設校のため、現役のみ。
(うち日本人)	6 名	6 名	100.0%	—	
(うち留学生)	26 名	14 名	53.8%	35.1%	

・卒業生(2025 年3月)就職状況

就職先の所在地	人数
鴨川市	21 名
館山市	5 名
南房総市	1 名
御宿町	2 名
千葉市	1 名
その他	2 名
合計	32 名

・介護福祉学科 2025 年4月入学者 33 名 内訳

2025 年入学者	入学のきっかけ	受験区分	備考
1 名	オープンキャンパス	指定校推薦	鴨川市令徳高校通信制
11 名	オンライン説明会	留学生	ネパール(名古屋の日本語学校)
2 名	口コミ	留学生	スリランカ(南房総在住者の親族)
19 名	内部進学	留学生	ベトナム(ドンア大学) インドネシア(TOMONI 社) ネパール(ユニワールド社) フィリピン(館山在住者の親族)

・日本語学科 2025 年4月入学者(1年コース) 12 名 内訳

2025 年入学者	奨学金	備考
2 名	太陽会	インドネシア(TOMONI 社)
8 名	太陽会	ネパール(TEWA 社)新規
2 名	千葉県留学生受入プログラム	ベトナム(ドンドー日本語センター) ベトナム(JIS 日本語教育センター)

23. 認定こども園 OURS（認定こども園）

【定員】

- ・認定こども園 OURS 390 名 ・一時預かり事業 15 名
・学童クラブ OURS 90 名 ・子育て短期支援事業 15 名 ・地域子育て拠点支援事業 15 名

【運営実績】

児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)その他の子どもに関する法律による施策と相まって、子ども・子育て支援、その他の子ども及び子どもを養育している者に必要な支援を行い、もって一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる、こどもまんなか社会の実現に寄与することを目的とし、事業を運営した。

「好かれる」をテーマに職員教育を展開し、OURS の使命、目指すものがより多くの方に誤解なく伝わるように、認識を高めながら教育・保育に尽力した。また、新規事業展開に伴い、OURS イズムの確立化と継承について議論を重ね「質と量で子ども・子育て支援を支える」使命を、正しく繋げられた一年だった。

◆ サービス提供実績

事業種別等	利用率
教育・保育課	77.9%
一時預かり事業	129.1%
学童クラブ OURS	105.3%
トワイライトステイ	8.0 件/月
OURS アカデミー	7団体

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

目標利用率の達成と、市場規模に合わせた事業展開を行い、収支のバランスを図った。また、教育・保育の質の向上のために、活動環境の工夫を凝らし、その取り組みを、SNS(Instagram・Facebook)にて発信した。新事業展開のため、本 SNS からスムーズに採用活動に繋がられる様、人事採用ページとのリンクを持たせ、採用費の削減に努めた。

◆ 人材育成と職場環境の整備

OURS の強みであるタスクシフト制で、それぞれのプロフェッショナルが、しっかりと役目を果たせるように各委員会を編成し、品質の維持と向上、職場環境の整備に尽力した。個人が背負う業務を委員会にて分担・分散させ、職員一体となって教育・保育に携わり、使命を最大限に果たした。人権擁護のためのセルフチェックの実施、OURS 館山の開園に向け、新採用職員への研修を計画的に実施した。

◆ 地域社会への取組み

昨年度に引き続き、園行事の夏祭りでは、地域の飲食店(キッチンカー)にコラボを呼びかけ、昨年度を超える8店舗に賛同をしていただき、園のリスクを抑えた上で、地域貢献と園行事の活性化を同時に果たすことができた。

子育て支援課を中心に、開かれた子育て環境を提供し、園庭開放や子育て相談等、地域の未就園児や保護者向けのイベントなどを開催し、地域の子育て支援に務めた。

OURS 館山の開園に向け、鴨川での実績を交えて、地域の方に丁寧に説明会を実施し、ご理解、ご賛同をいただきながら、歩みを進めることができた。

◆ 各種会議及び行事

月	行事・保健計画	研修・会議
4月	入園式・始業式・進級式 避難訓練・誕生会・こどもの日会 手洗い・トイレの使い方指導	保健研修・調乳指導・おむつ交換研修・園の安全管理研修 各課連携研修・幹部会議・カンファレンス会議・委員長 会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
5月	避難訓練 誕生会・不審者対応訓練 手洗い・トイレの使い方指導	虐待対応研修・情報管理研修・幹部会議・カンファレンス会 議・アレルギー会議・給食会議
6月	避難訓練 親子遠足(強雨の為に中止)・誕生会 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	救急救命研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー 会議・給食会議
7月	七夕会・避難訓練 おらがまち・誕生会・終業式 歯磨き指導・プールの約束 熱中症予防のお話	幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会 議・委員長会議・給食会議・アナフィラキシー対応とエピペ ン取り扱い
8月	避難訓練・誕生会 歯磨き指導・プールの約束・トイレ指導	防災計画・災害研修・選択制保育実技研修・幹部会議・カ ンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
9月	始業式・総合防災訓練・防災教育 0歳児運動会・1歳児運動会 2歳児運動会・誕生会・幼児課運動会 オータムキャンプ うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	総合防災訓練研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレル ギー会議・給食会議
10月	避難訓練 誕生会・ハロウィンパーティー うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	安全管理研修・幹部会議・カンファレンス会議・委員長会 議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
11月	避難訓練・遠足・誕生会 不審者対応訓練・怪我予防 うがい・手洗い指導・ケガのお話 鼻のかみ方・咳エチケット	安全管理研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー 会議・給食会議
12月	0歳児発表会・1歳児発表会 2歳児発表会 避難訓練・誕生会・幼児課発表会 終業式・クリスマス会 うがい・手洗い指導・トイレ指導	救命救急研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー 会議・給食会議
1月	始業式・避難訓練・誕生会 うがい指導・食事のマナー	マーチング研修・指導要録の書き方・給食研修・幹部会議・ カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
2月	節分会・避難訓練・誕生会・造形展 バディクラスフリー参観 ブレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観 風邪予防教室 咳エチケット・体のはたらき	KYT 研修・嘔吐処理研修・幹部会議・カンファレンス会議・ アレルギー会議・給食会議
3月	ひなまつり会・避難訓練・遠足 誕生会・卒園式・終業式 歯磨き指導・こころといのちのお話	環境衛生研修・幹部会議・カンファレンス会議・委員長会 議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議

24. OURS baby（企業主導型保育所）

【定員】

・保育所 114 名 ・預かりサービス 8名（1日当たり）

【運営実績】

当年度、全てのこども・子育て世帯を対象にライフステージ全体を見て、切れ目ない子育て支援の充実を図るとともに共働き共育を推進していく総合的な対策として「こども未来戦略」が、閣議決定された。

OURS baby では、特に共働き・共育の推進において、対象となるこどもを積極的に受け入れるなど、仕事と子育ての両立が可能となるよう、企業主導型保育事業に求められる多様化した就労形態に合わせた運営を実践してきたことで、年度当初の稼働は、例年になく低くかったが、毎月利用するこどもの人数も増え、最終的な稼働については、昨年度よりも高い稼働で一年を終わることができた。

また、「保育所保育指針」で定められている5つ領域が達成できるよう年間保育計画を策定し、行事を含め経験や体験から成長できる保育を提供した。

感染症について、2025 年1月下旬より、園児 18 名、職員2名の計 20 名が胃腸症状を訴え、10 名からノロウイルスが検出されたが、保健所の指示と保育所内の感染対策により、以降の感染拡大は防ぐことができた。

◆サービス提供実績

事業種別等	利用率	延べ利用人数
保育所	71.0%	971 名
預かりサービス	7.2%	212 名

◆財務基盤の強化へ向けた取組み

提携企業と密に連携し、育児休暇から復帰を予定している人数の把握、新規に採用となる職員対象に、保育所の利用ニーズを把握し、効率的な利用子どもの受け入れを実施し稼働率の向上を目指した。また、預かりサービスについても、地域のニーズを鴨川市と情報を共有し、稼働率の向上を目指した。

無駄なコストを削減するため、多職種で費用対効果を検討し、最大限の効果が得られる取り組みを実施した。

◆人材育成と職場環境の整備

2024 年度年間教育訓練計画をもとに、職員の資質向上に向けた内部研修を月 1 回以上実施し、特に虐待防止や不適切保育の防止について重点を置いた。全保育士を対象とした保育士キャリアアップ研修の受講を推進し、専門スキルの向上や保育技術の向上に努めた。

オムツのサブスクリプションの導入、連絡帳を ICT 化したことにより、保育従事者の業務改善を実施した。

◆地域社会への取り組み

保育の必要性がある対象の子ども的人数やこども園等の利用申し込み状況など、提携企業や鴨川市と情報を共有し利用の調整を行い、待機児童発生 of 未然防止に努めた。

一時的に養育が困難になった子育て世帯に対して、預かりサービスを実施した。

◆各種会議及び行事

月	行 事	研修・会議
4月	・誕生会 ・避難訓練	・2024 年度品質目標・嘔吐処理研修 ・リーダー会議・各委員会会議
5月	・誕生会 ・こどもの日会 ・親子遠足 ・不審者対応訓練 ・避難訓練	・認知症サポーター研修・子どもの人権虐待対応 ・不適切保育について・嘔吐処理研修 ・リーダー会議・各委員会会議
6月	・誕生会 ・避難訓練	・保護者に知ってもらいたい子どもの病気と対応 ・水遊び、熱中症研修・揺さぶられ症候群について ・BLS 研修・リーダー会議・各委員会会議
7月	・誕生会 ・七夕会 ・避難訓練 ・サマーフェスティバル	・虐待対応研修・食物アレルギー、エピペン研修 ・保育士キャリアアップ研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
8月	・誕生会 ・避難訓練	・保育士キャリアアップ研修 ・企業主導型保育事業施設長研修 ・リーダー会議・各委員会会議
9月	・誕生会 ・避難訓練 ・運動会(0歳児・1歳児・2歳児)	・企業主導型事業保育安全研修 ・保育所保育指針研修・リーダー会議 ・各委員会会議
10 月	・誕生会 ・避難訓練 ・ハロウィンパーティー	・保育士キャリアアップ研修・KYT 研修 ・認可外保育施設質の確保・向上のための研修 ・リーダー会議・各委員会会議
11 月	・誕生会 ・避難訓練 ・遠足	・嘔吐処理研修・BLS 研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
12 月	・誕生会 ・避難訓練 ・クリスマス会 ・発表会(0歳児・1歳児・2歳児)	・不適切保育防止のための研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
1月	・誕生会 ・避難訓練 ・新年会	・子どもの主体性を尊重する基調講演 ・アレルギー疾患対策研修会・リーダー会議 ・各委員会会議
2月	・誕生会 ・避難訓練 ・節分会	・虐待防止について・虐待防止講演会 ・保育士キャリアアップ研修・体育研修 ・リーダー会議・各委員会会議
3月	・誕生会 ・避難訓練 ・遠足 ・ひな祭り会 ・お別れ会(2 歳児)	・体育研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議

※虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、施設内感染管理委員会、施設内安全管理委員会は、各指針等に基づき定例で開催。

25. 家事代行サービス ルアナ

【運営実績】

パークウェルステイト鴨川での家事代行サービスも4年目となった。「一人ひとりの、自由で豊かな暮らしを支える」という三井パークウェルステイトとしてのブランドコンセプトの一翼を担うべく、お客様の生涯の暮らしに家族のように寄り添い続け、様々なニーズにサービスを提供している。

毎月の定期契約者としては、10 名前後のご入居者が契約されている。スタッフとの関係性も良好であり、普段関わりがほとんどない IL ご入居者とのコミュニケーションが図れている。また介護目線での対応となるため、居室内の転倒リスクなどにも配慮し、アドバイス等を行っている。

契約内容としては、ほとんどが清掃となるが、病院受診の付き添いが年々増えている。転倒への不安、病院の受付や会計システムの対応困難等、様々な事情から外出サービスをご利用される方がいる。

次年度以降も、家事代行サービスを継続しながら、レジデンスご入居者のサポートを可能な限り行い、鴨川での生活に潤いをもたらせるよう、太陽会スタッフとして尽力する。

◆ サービス提供実績

サービス利用実績

2024 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月 1 時間プラン(件)	6	5	8	4	6	7	7	6	4	5	5	6
月 2 時間プラン(件)	2	1	3	4	4	3	3	3	5	3	3	3
月 3 時間プラン(件)	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
月 4 時間プラン(件)	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
外出プラン(件)	5	5	5	5	6	0	0	5	6	8	7	6
スポットプラン(件)	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1
身体介助【入浴】(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
無料お試しプラン(件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

ご利用者の性別構成 (n=8)

男性	女性
5名	3名

ご利用者の世帯構成(単身/夫婦) (n=8)

単身	夫婦
8世帯	0

ご利用者の年齢構成 (n=8)

70 代	80 代	90 代
2名	5名	1名

- ・前年度同様、「月 1 時間プラン」のニーズが高い。
- ・ご利用者全員が、単身世帯である。
- ・要介護認定を受けたことで、訪問介護(介護保険サービス)に移行され、利用中止となるケースがある。
- ・今回初めて身体介護が発生し、IL 居室での入浴介助を数回実施した。
- ・受診付添の依頼が多く、ルアナで対応しきれず、他事業所の自費サービスを利用されたケースがある。

ご契約者のお声

- ・自分で頑張って掃除してきたけど、体の自由もきかなくなってきて、皆さんに掃除してもらって本当に助かっている。
- ・亀田病院での受診は、人も多くて支払いとかもわからない。付き添ってもらってうれしい。
- ・作業を短時間に2人でやってもらえるから、月 1 時間でもきれいになる。
- ・この歳になって自分で掃除はしたくない。お金を払ってでも、やってもらって助かってる。
- ・体調を崩したときに、薬や湿布などをすぐを買ってきてもらえて感謝してます。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・無料サービス(お試しプラン)のご利用が年間 1 件にとどまった。新規ご契約者獲得のためにレジデンス内リビングサロン等にも働きかけ、サービスの紹介をしてもらい顧客獲得を図る。
- ・備品等は、必要最小限の物を選定し、適宜補充することで経費削減に努めた。
- ・体調不良時の買い物や受診付き添いなど、突発の依頼にも可能な範囲で柔軟に対応した。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・ご契約者ごとの契約内容をマニュアル化し、新人などでもご契約者ごとの作業内容がわかるように整備した。随時更新及び情報共有していく。
- ・パークウェルステイト幕張ベイパークの開業にあたり、鴨川から異動したスタッフの育成に努めた。
- ・介護フロア業務を圧迫しないよう、契約者数の推移を追いながらスタッフの配置を増員した。

◆ 各種研修

- 4 月 新入職者研修①
- 6 月 新入職者研修②
- 7 月 高齢者虐待予防(動画のみ)
- 9 月 コンプライアンス・マナー
- 10 月 感染予防(対面・動画)
- 11 月 緊急時対応(BLS)
- 12 月 事故予防(動画)

26. 労働者派遣事業サンキャリ 有料職業紹介事業サンキャリ

【派遣登録者】

- ・介護福祉学科 学生 2年生 7名 1年生 5名
- ・介護職員 1名
- ・事務職員 2名

◆ 労働者派遣業サービス提供実績

(1) 営業 10 法人

(2) 取引実績 4法人

- ・医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
- ・医療法人明星会 東条病院
- ・社会福祉法人健仁会 特別養護老人ホーム千の風・清澄
- ・亀田産業株式会社

(3) 派遣単価

職種(雇用形態)	単 価(1時間あたり)	
介護福祉士(常勤)	2,840 円	
事務職員(常勤)	3,150 円	4,956 円
看護補助(アルバイト)	1,365 円	1,415 円
調理補助(アルバイト)	1,560 円	
調理補助(アルバイト)※17:50～20:20	1,950 円	

(4) 派遣者数

2024 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護職員(常勤)	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0
事務(常勤)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
看護補助(アルバイト)	5	5	5	5	5	7	7	7	10	10	10	10
調理補助(アルバイト)	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2
合 計	7	7	7	8	8	11	10	10	12	12	12	12

(5) 派遣時間数

2024 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護職員(常勤)	0	0	0	0	120	160	168	160	0	0	0	0
事務(常勤)	0	0	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0
看護補助(アルバイト)	700	548	624	530	316	692	824	776	1,076	912	960	883
調理補助(アルバイト)	288	240	200	184	369	316	247.5	232	252	248	128	120
合 計	988	788	824	718	805	1,168	1,239.5	1,168	1,328	1,160	1,088	1,003

利用法人の声

- ・卒業後も継続して派遣して欲しい。毎年 2 名の枠を用意。(亀田総合病院)
- ・学生の増員も希望。(亀田総合病院)
- ・明るく真面目で能力も高いので助かる。(亀田総合病院)
- ・学生アルバイトの派遣を依頼したが、卒業後も継続して派遣して欲しい。(東条病院)

◆ 有料職業紹介事業サービス提供実績

- (1) 相談中 0 法人
- (2) 取引実績 1 法人

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・派遣・紹介派遣できる人材の確保

日本語学科生の入国が 12 月末となり、当初の入国予定より 3 か月ほど遅れたが、ベトナム人(6 人)、インドネシア人(8 人)、ネパール人(2 人)が来日した。

また、名古屋の日本語学校からネパール人(11 人)が、介護福祉学科に入学することとなった。

- ・社宅・学生寮の整備

安心して留学できるよう、学生寮として鴨川市内に 40 戸、館山市内に 11 戸整備した。2025 年 9 月より鴨川市内に 1 棟(12 室)部屋を確保した。2025 年 4 月入職の外国人派遣職員に対して、千葉市、御宿町、鴨川市に、社宅を提供した。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・連絡手段(派遣事業スタッフと派遣登録者)

公式ラインを使った連絡手段を確立した。

- ・連絡手段(派遣先と派遣会社)

亀田総合病院とは Teams を使い、管理スタッフがお休みの連絡等ができるよう、仕組みを整えた。

- ・就業先への移動手段確保のため、希望者に対して原付免許等の取得、購入を支援した。

- ・入職前オリエンテーションの実施。配属先の業務内容、就業における注意事項の説明を行った。

27. パークウェルステイト鴨川

【定員】

パークウェルステイト鴨川 ・入居定員 882 人
・居室数 473 室(一般居室(IL)409 室 介護居室(AL)64 室)

【三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社 コンセプト】

「お一人おひとりの、自由に豊かな暮らしを支える三井のシニアのためのサービスレジデンス」。パークウェルステイトは、お元気なシニアの方が、より自分らしく暮らしていただけるように、三井不動産レジデンシャルウェルネスが、お客様の生涯のくらしに家族のように寄り添い続け、様々なサービス、サポートをさせて頂くすまいです。

【運営実績】

2021 年 11 月の開業から3年が経過した。「お一人おひとりの、自由に豊かな暮らし」をコンセプトに個別性の高いケアを実践してきた。開業からの職員を中心に三井コンセプトを伝えながら、パークウェルステイト鴨川でしかできないサービスを探求してきた。

太陽会で培ってきた「福祉の心」でご入居者・ご家族に接することで、普段から感謝のお言葉もたくさんいただいた。太陽会としても初めての業務委託・有料老人ホーム運営であり、日々葛藤しながらも、職員一同協力しサービスの向上に努めた。

また、感染に関して他とは違い、自由に面会できる中、意識を高め感染防止を行ってきた。看取りも行う中で、在宅診療チームとの連携強化も図り、最期までその人らしく生活できるよう、多職種協働にて尽力してきた。

次年度は介護フロア3階オープンを迎えるため、職員の増員・設備等計画的に準備を進める。

◆ サービス提供実績

契約者の推移

2024 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護居室(AL) 入居人数	13	13	13	14	15	15	17	16	17	17	17	19
一般居室(IL) 特定契約人数	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2

介護居室(AL)契約者 男女比(n=19)

男	女
7人	12人

介護居室(AL)契約者 年齢別(n=19)

70 歳代	80 歳代	90 歳代
3人	6人	10人

平均年齢:88 歳 最高年齢:97 歳(3名在籍)

◆ 財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・直接入居とIL一般居室からの受け入れを進めてきた。(年度 22 名入居、ご逝去 3 名)
- ・1.5:1 以上(直接処遇職員)の手厚い人員配置のため、引き続き入居推進を行い職員の増員をかける。(業務委託料)

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・開業から3年が経過し、業務の基盤となる業務ブック等の改善を図った。
- ・今年度から中途採用者の採用も行い、新たな教育システムの構築を進めた。
- ・介護福祉士実務者研修講師や安房医療福祉専門学校南房総校講師、「千葉県介護の未来案内人」事業(千葉県)など、「教える・伝える」ことにスポットを当て職員教育を実施した。

◆ 地域社会への取り組み

- ・レジデンスとしては、ローソンカー、ヤックスカー、JA、生花、パン販売等が定期販売している。館内イベントとして講談、フラダンス、太鼓等開催し多くのご入居者に楽しんでいただいた。
- ・事業者連携として、訪問介護事業所やケアマネジャーを中心にレジデンス見学を常時開催して、今後の連携強化に努めた。

◆ 各種会議及び行事

- ・オペレーション会議
- ・ネクストレベルプロジェクト会議
- ・PWS 委員会
- ・ウェルネス会議
- ・虐待防止会議
- ・身体拘束ゼロ会議
- ・教育委員会
- ・感染防止会議
- ・事故対策会議
- ・転倒対策会議

28. 幕張事業部

【定員】

パークウェルステイト幕張ベイパーク ・入居定員 738 人
・居室数 617 室(一般居室(IL)534 室 介護居室(AL)83 室)

【運営実績】

◆ パークウェルステイト幕張ベイパーク

実入居者数 (2025 年3月末時点)	介護居室(AL)	一般居室(IL)	※2024 年9月 1 日開業
	4名(4室)	273 名(207 室)	

■ウェルネス支配人

- ・週報、月報の作成。週次定例会、月次報告会への出席(三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社)。
- ・一般棟入居者懇談会への参画(3月)。 ※次年度は4半期毎に開催(6月は総会)。
- ・夜間配置体制の見直し。

三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社と協議の上、介護棟の夜間配置を当初契約(看護1名、介護2名)から 2025 年4月1日付にて契約内容を(看護2名、介護2名)変更。
業務委託料についても、看護師3名分が増額。

■一般居室対応(看護師、生活相談員)

緊急時対応(夜間対応・誤報を含む)	月平均	53 件
うち救急搬送および救急受診	月平均	約3件
健康相談(生活相談を含む)	月平均	30 件
感染症対応	延べ	10 名(コロナ9名、インフルエンザ1名)
入居前面談	延べ	15 件

◆ 亀田ホームクリニック幕張

標榜科	・内科／小児科
医師	・院長 本山哲也
	・一般診療
業務内容	・健康診断 入居前健康診断、入居者基本健康診断 千葉市特定検診、千葉市がん検診(胃がんリスク、大腸がん、肝炎)
	・予防接種 千葉市小児定期予防接種、千葉市高齢者定期予防接種 各種予防接種事業(インフルエンザ、コロナ、肺炎球菌など)

		9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月
保健診療	ご入居者 (人)	40	157	209	204	167	163	215
	一般 (人)	50	143	219	303	235	149	182
	新患比率 (%)	70	59	41	46	38	23	20
ワクチン接種	インフルエンザ (人)	-	58	99	50	27	1	-
	コロナ (人)	-	30	52	16	3	-	-
ご入居者定期健診 (人)		-	-	-	2	1	3	10

◆ 亀田ホームケアサービス幕張

・介護棟での見守り相談サービス

業務内容 ・介護保険サービス

・保険外サービス

・定期巡回・随時対応型訪問介護看護

契約者数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護 (人)	4	5	5	4	4	4	4

11月末、ターミナルケアで、直入居のご入居者様1名ご逝去。

3月末ご退院後、一時静養室にてターミナルケア実施のご入居者様1名ご逝去。

介護居室のご入居者4名は、認知症高齢者の日常生活自立度は低いが、ご容態は比較的安定している。

・居宅介護支援事業所

契約者数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護 (人)	8	10	10	11	11	11	10
予防 (人)	2	4	4	4	4	5	5

・訪問介護

契約者数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護 (人)	4	5	5	5	6	6	6
総合事業 (人)	0	1	1	1	1	2	2

・訪問看護

契約者数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護 (人)	看1 リハ0	看1 リハ1	看1 リハ1	看1 リハ1	看1 リハ1	看2 リハ1	看2 リハ1
医療 (人)	0	0	1	0	0	0	0